

氏名： 大森 正博 (OMORI Masahiro)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
職名： 准教授  
学位： 経済学修士 (東京大学)  
専門分野： 公共経済学、医療経済学、産業組織  
URL： <http://www.soc.ocha.ac.jp/omori/ohmori.htm>  
E-mail： [omori.masahiro@ocha.ac.jp](mailto:omori.masahiro@ocha.ac.jp)

#### ◆研究キーワード / Keywords

経済学／医療／制度分析／日本の医療制度改革／比較分析  
Economics / Health Care / System Analysis / Health Care Reform in Japan / Comparative Analysis

#### ◆主要業績

総数 (5) 件

- ・「日本の医療制度改革について」『租税研究』 第 702 号 pp.5-19 2008 年 4 月
- ・「医療と介護の連携」『経済集志』 第 78 巻第 3 号 pp.281-291 2008 年 10 月
- ・「オランダ」 荻原他編 『世界の社会福祉年鑑 2008』 旬報社 pp.112 - 143 2008 年 12 月

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

日本をはじめとして世界中の国々が医療にかかわる問題に直面している。これらの問題の大部分は、医療制度の設計の仕方に起因するものが大部分であり、それがゆえに各国で医療制度改革が行われている。私は、医療制度を経済学の視点から分析し、医療にかかわる問題の発生メカニズムを探ることを研究課題としている。

Most of the countries all over the world are confronted with Health Care Problem. Most of the problem are themselves from mechanism of health care system. That is the reason why most of the countries try to reform their health care system. The focus of my research is to analyze health care system using economics and find the mechanism which generates health care problem.

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

### 学部教育

学生が経済学の基礎から応用まで身につけることができることを目標に経済学教育を行っている。学生が社会に出て、経済学ないし経済学的思考が必要になったときにすぐに実践的な勉強ができる程度に基礎を固めることを目標にしている。経済学部卒業生に負けない程度の基礎力応用力を付けることを目指している。

### Education for Undergraduate students

I teach undergraduate students basic and intermediate micro and macro economics and some applied economics including industrial organization and public economics. The aim of my education activity is to make students to improve their basic knowledge of economics and to solve economic and social issues by using economics.

### 大学院教育

学生が、経済学を基礎的な分析手法をしっかりと身につけ、さらに周辺領域の社会学、法学、政治学の手法にも関心を持ちながら、社会問題を分析する力を身につけることを目標にしている。

### Education for graduate students

I teach economics especially Health Economics and Public Economics to graduate students to improve their research by introducing analytical tool of economics. I also try to stimulate students to pursue their issues not only by using economics but also by taking into account sociology, legal studies and political science.

## ◆メッセージ

大学生の時の研究・学習を行うにあたって、高校(予備校)時代までの各学科の学習は言うまでもなく、課外活動の経験がその土台、基礎となります。しっかりと高校生活を謳歌して、本学の門をたたいてください。